【天草園】 ～久しぶりの訪問販売～

通常であれば、年に2回衣料品の訪問販売を実施していますが、ご存じの通り一昨年前からの新型コロナウイルス感染拡大に伴い、行事やクラブ活動に制限をかけていました。昨年10月頃から新規感染者0の日が多くなり、感染者数も落ち着きコロナウイルス流行の終息の兆しが見え始めてきたことから、2年ぶりに外部業者に委託しての訪問販売を実施することができました。もちろん、マスク着用や手指消毒、密を避けるために少人数のグループに分けて行う等の感染対策をしっかり行い実施しました。利用者さんは悩みながらも楽しそうに買い物が出来ていたようで「久しぶりに自分で選んで買い物できたから良かった・・・」等と喜びの声がたくさん聞かれました。

【野坂の浦荘】 ～デイキャンプを楽しみました♫♫～

野坂の浦荘では、外出行事の新たな取り組みとしてデイキャンプを実施しました。施設の近くにある御立岬公園のキャンプ場を利用し、職員と利用者の皆様とで一緒に昼食作りをし、ゴーカートを楽しみました。昼食のハンバーガーや焼きそばを作る時には、野菜を切ったり洗い物をしたりと皆様が各々出来る事に積極的に取り組み、職員からも、皆で一緒の事に取り組む楽しさを実感できたとの声が聞かれました。皆で作った料理は、とても美味しかったとの事です。新型コロナウイルスの影響で、思うように外出行事を実施出来ない状況は続いていますが、少しでも楽しめるようにと今までとは違った行事への取り組みを行っており、その中で「一緒に楽しむ」という事の大切さを改めて実感している所です。その他荘内で行えるレクリエーションの充実も図っており、出来ない事に目を向けるのではなく、今だから出来る事に目を向けて、今後も取り組んでいきたいと思います。

【千草寮】 ～太陽の下での運動会～

昨年よりコロナの影響で、寮内・外での行事やイベントを変更・延期していました。入所者の皆様も変化の無い毎日にストレスが溜まっていましたが、まん延防止も解除となり10月27日（水）に運動会を開催することが出来ました。前日より、入所者・職員一緒に競技で使用する風船を膨らませたり、飾り付けやテント設営等協力してもらいました。コロナ禍の為、密にならない・安全に参加出来ることを職員一同考え、競技内容も工夫を凝らしました。当日は秋晴れの中、赤青チームに分かれ競技を行い、笑い顔と真剣な姿を見ることが出来ました。外での活動が久しぶりだった為、日光に当たり少し疲れも見受けられましたが、怪我もなく終了したこと、グランドでお弁当を食べたこと等、利用者も少しはリフレッシュ出来たのではと感じました。まだ、コロナ禍でイベントに支障が出ることもあると思いますが、来年はもっと活動の範囲が広がることを祈ります。

編集後記　2022年　1月号（No.36）

新年あけましておめでとうございます。特に昨年は年始からコロナ禍に翻弄され、様々なことに自粛、我慢が強いられた一年でありました。コロナが終息し、元の生活が送れるように願うばかりです。
この度の広報誌は二年ぶりの発行となりました。今後も熊救協の取り組みや県下七施設の状況等をお伝えしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

《熊救協調査研究委員会　　三宅　浩徳（天草園）》

編集　：　熊本県救護施設協議会　調査・研究委員会　　事務局　：　〒861-2401　熊本県阿蘇郡西原村大字鳥子3072番地　真和館　TEL　(096)-279-1121
発行　：　熊本県救護施設協議会　　(096)-279-1122

熊本県救護施設協議会　　2022年　1月号（No.36）

熊　救　協

http://kumakyukyo.sakura.ne.jp

真に必要とされる救護施設をめざして

熊本県救護施設協議会会長　藤本和彦

新年あけましておめでとうございます。昨年は、熊本県・熊本市、各福祉事務所を始め、多くのみなさまに、コロナ下の救護施設の運営やコロナ感染防止に、ご支援・ご協力を賜り、誠に有難うございました。
お陰様で、令和3年も令和2年に引き続き、熊本県下7つの救護施設では、1人の感染者を出すことも無く、無事に乗り切ることが出来ました。誠に有難いことであります。改めて、心から感謝申し上げます。
さて、熊本県救護施設協議会では、ここ2～3年「社会から真に必要とされる救護施設」となるために、7つの施設で協議しながら各施設に対し、次のような取り組みの促進をお願いしています。

①救護施設は、経済的な問題や生活環境等の様々な問題を抱えている方々に、最後のセーフティネットとして、安全で安心な暮らしを提供しなければならないため、新たな入所者の受け入れについては、コロナ下でも、基本、通常通りの受け入れを行うこと。
②身体や精神に障がいを有する方に、居宅生活訓練等を実施し、地域生活に戻れる取り組みをすること。
③生活困窮者への相談窓口の設置や緊急一時救護（無料低額）事業等、地域の実情や各施設の特色を生かした社会貢献活動に取り組むこと。
④各施設の運営レベルの向上に向けて、第三者評価の受審に取り組むこと。

新年にあたり、私ども救護施設の心意気をお伝えするとともに、コロナが終息し、通常の暮らしができる日が一日も早く来るよう祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

ごあいさつ

しらがね寮　施設長　小田　淳

2022年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申しげます。皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。
私は、令和2年4月から施設長を拝命しました小田と申します。着任時は県内でも新型コロナ感染者が確認された時期だったと記憶しております。初めての職場で、初めて経験する危機管理の責務は、今まで経験したことが無く、利用者及び職員の協力と理解のもと、早期の感染予防対策ができたことは、大変、心強く感じたところです。
さて、しらがね寮は昭和43年に設立し54年が経過しますが、本施設の基本理念であります「障害の種類等を問わず支援を必要とする方を受け入れ、安心安全で尊重された生活を保障し、利用者の幸福の追求と、その人らしい生活の実現に向けた支援に努める。」を念頭に、皆様の益々のご指導をいただき、職員一丸となって頑張ってまいります。
最後になりますが、みなさまのご多幸とご健康を祈念し、就任のご挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ

千草寮　施設長　　片山　博之

令和2年4月30日に施設長に就任いたしました片山博之です。
消防行政に27年ほど従事した後、平成26年4月より千草寮の副施設長として、またこのたび施設長という大役を任され、あっという間に1年8か月が経過しましたが、今年度もコロナ（第5波）が猛威を振るい、行事の縮小・変更・延期等を余儀なくされ利用者の皆様には、密を避け、手洗い、うがい、マスク着用をお願いし外出や面会も制限、利用者・職員共にストレスがたまる中でしたが、終息するにつれ、少しずつ光も見えてきたように感じておりますが皆様の地域ではいかがでしょうか。今後もコロナと共に、行事等を工夫し、感染予防や様々な危機に対応すべく努力を続けていきたいと考えております。
法人理念の「潤いと安らぎのある毎日を」提供するため、前施設長の「利用者の皆様に目配り気配りを」を肝に銘じ、利用者の皆様が「何を必要」としているか理解し、強みと回復力を信じ、熱い心と冷静な判断のもと、伴走者として一定の距離を保ちつつ利用者の皆様の希望や想いにそっと背中を押してあげられるそんな支援を、職員みんなで力を合わせ次世代へつながる支援を実践していきたいと考えておりますので、何卒熊救協の皆様をはじめ関係機関の皆様、地域の皆様の温かいご支援とご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

ごあいさつ

野坂の浦荘　施設長　　永山　博久

この度、令和3年4月より迫本文雄前施設長の後任として就任いたしました永山博久でございます。よろしくお願いします。
平成26年4月より当施設の指導員として就き、現在に至っております。福祉の仕事は未経験で非常に戸惑う場面も多くありました。
各福祉事務所、各医療機関との連携、また利用者様の要望等にどこまで応える事が出来るのか暗中模索の状況でした。その中で背中を押してもらえたのは、当施設職員の全面的なサポートと、利用者様との何気ない会話の中にヒントがあったりと、一つ一つの課題を乗り越えていく度に、その経験が自信へと繋がっていきました。
熊救協・九救協で出会った仲間に関しては、仕事上での色々な愚痴をきちんと受け止めてくれて、更に的確なアドバイスをくれる。本当に素敵な仲間に出会えたと感謝しております。
今、私がここにあるのは今まで出会った方々からいただいたお言葉や、ご指導により成り立っております。今回施設長という重責な身ではございますが、今まで支えていただいたこの御恩を、施設利用者様と地域の方々に向けてきちんと返して参りたいと思います。
「救護施設野坂の浦荘」が新たなステージへと向かうため、不撓不屈の精神をもって臨んで参ります。今後ともよろしくお願いします。

各施設トピックス

【友愛会銀杏寮】　～ユニクロへ買い物に行こう！！～

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、利用者は近隣のコンビニまでの外出制限をお願いしていましたが、ユニクロ熊南店様にご相談したところ、夏と冬に開店前1時間を貸し切り対応していただきました。地域の方との接触もなく、外出しての買い物ができるということで多くの希望者がありました。事前に公式ホームページを見て、どんな品物があるのか、金額やサイズ等を調べて準備も行いました。久しぶりの買い物でもあり、試着を行い吟味される方、話題のアニメがプリントされている衣類を選ばれている方もいました。利用者からも「久しぶりに買い物できて楽しかった」と好評でした。買い物した翌日には、早速ユニクロの衣類を着られている利用者が沢山おられ、ホッコリしました。

【菊池園】　～秋のお楽しみレクリエーション大会！～

菊池園が開設された10月に合わせて、「菊池園開園記念祭」というものを実施していましたが、昨年から新型コロナウイルスの影響を受け、職員・入所者とでレクリエーション大会を実施しています。今年度は、初めて〝ボッチャ〟に挑戦してみました。その他にも、施設長とのじゃんけん大会も行い、楽しい時間となりました。50名の団体生活のため密を避けて、午前は1階入所者、午後は2階入所者と2部に分けて行いました。コロナ禍で今までのような外出ができないため、施設生活に楽しみが持てるよう、取り組んでいるところです。

【真和館】　～内観棟完成～

令和3年10月20日、内観棟の竣工式が執り行われました。内観とは、「身調べ」という精神修養法をもとに浄土真宗の僧侶である吉本伊信により考案され、近親者に対して、「していただいたこと」「して返したこと」「迷惑をかけたこと」の3つの視点から自己を内省する方法です。依存症やうつ病等様々な精神疾患をお持ちの方に効果があるといわれています。当施設では、平成27年から入所者と職員が病院の集中内観に参加し、また、施設内では一日内観・日常内観を行ってきました。この度、内観棟の完成により、木々に囲まれた静かな環境の中、木の匂いと温もりを感じながら、集中した内観を行うことができるようになりました。ご来館の際は、是非ご覧ください。

【しらがね寮】　～しらがね寮ミニミニ運動会～

令和3年10月14日に肌寒い秋空の中、しらがね寮ミニミニ運動会を開催しました。
競技種目は6種目あり、体力に合わせ参加してもらいました。施設交流会がコロナ渦で2年やむを得ず中止になっていたためこの運動会を楽しみにされていました。最後まで怪我もなく和気あいあいと楽しい運動会になりました。